

産総研のアフリカ諸国との連携



独) 産業技術総合研究所 国際部門
宇都浩三

産総研とは

- 産業技術の研究開発を行う国内最大規模の公的研究機関で、5000名を超える研究者、研究支援者が研究活動に従事。
- 外国人研究職員260名、海外からの研究者、研修生は約800名/年
- 「ライフサイエンス」、「情報通信・エレクトロニクス」、「ナノテクノロジー・材料・製造」、「環境・エネルギー」、「地質」、「標準・計測」の6研究分野で基礎研究から製品化研究まで幅広く展開。
- 基本理念 「産業技術の向上を通じた社会の発展への寄与」

産総研の国際連携の二本柱

- 先進的研究機関との相互補完的な研究協力
 - 「競争と協調」によるグローバルな視点での研究協力
- アジアおよびBRICS諸国との相互互恵的なパートナーシップ
 - 環境・エネルギー等の**広域的な課題の解決**
 - **優秀な人材**とのネットワークの強化

アフリカとの連携実績

- ・ 包括的研究協力覚書：
 - Council of Geoscience (南アフリカ) 鉱物資源調査(レアメタル)
- ・ 共同研究(契約書を取り交わしたもの)
 - Rhodes大学(南アフリカ) 金の資源評価
- ・ 人材受入(2008-09年度実績)
 - 研究職員 1名(エジプト)
 - ポスドク 2名(エジプト) ←2009年4月採用
 - 研究支援職員 1名(エジプト) ←2009年4月採用
 - 客員研究員 5ヶ国8名
 - ・ エジプト(4)、モロッコ(1)、アルジェリア(1)、スーダン(1)、南アフリカ(1)
 - 技術研修 4ヶ国8名
 - ・ ガボン(1)、ザンビア(3)、マラウイ(1)、モロッコ(1)、
 - ・ アルジェリア(1)、ケニア(1) ←JICA集団研修

↑
CGS

今後の研究協力に向けて

- ・ 相互互恵的パートナーシップの確立
 - 相手国の資源の有効活用
 - ・ 日本にない素材資源: 鉱物資源、エネルギー源、生物資源 etc
 - ・ 人的資源: 高い研究ポテンシャルの活用
 - ・ 研究設備: 現地設備を使った基礎実験
 - 共通の研究目標の迅速な達成
 - ・ 持続発展可能な地球社会の実現のためのイノベーション創出
- ・ 人的資源の育成と技術移転
 - 技術を発展させるための人材育成に貢献
 - ・ JICA集団研修 4コースの活用(産業・社会知的基盤技術: ケニアから1名、環境調和技術、バイオマス有効利用技術、法定計量)
 - ・ JICA個別研修および他制度による研修生の積極的に受け入れ